

第31回電子顕微鏡解析技術フォーラム
会議録

- (1) 日時：2009年 8月 21日
(2) 場所：東京ウィメンズプラザ
(3) テーマ：2009年夏第31回電子顕微鏡解析技術フォーラム
(4) 成果：今回はテーマ「電池材料の解析」と材料に焦点を絞ってフォーラムをおこなった。

この為、チュートリアルでは材料の基礎である状態図を学んだ、像から材料の履歴を知る手だてとして今後の仕事に非常に有益であるとの好評を得た。テーマ本題である「電池材料の解析」では、燃料電池の開発者が何を主眼として何の為に顕微鏡観察をおこないたいと思っているか、電子顕微鏡で分析が難しいLiをどのようにして分析、観察するか、また、大気中で扱えないLi電池をどのように扱えば良いか等、活発な議論がおこなわれた。一般公募では樹脂中のフィラーを解析する時に試料厚さを間違えると正しい結果が得られないことや、SpininnngStarをもちいた新しい結像方法についての紹介があった。恒例行事である「ざっくばらんトーク」では、参加者が日頃抱えている問題点を発表していただき、それに対して知見のある参加者がコメント、アドバイスをを行い、解決方法を討論しながらネットワーキングを行った。

(5) 参加者：46名(会員30名、非会員16名)

(6) プログラム、

チュートリアル

- | | |
|---|------------------|
| 1. 顕微鏡観察に必要な状態図の読み方
テーマ「電池材料の解析」 | 谷村 誠(日産アーク) |
| 1. 一体形成シリコン電極板による薄型燃料電池 | 早瀬 仁則(東京理科大学) |
| 2. STEM-EELS法によるLiイオン電池電極材料解析 | 吉川 純(大阪大学) |
| 3. 電池材料の3DTEM解析 | 島貫 純一(日産アーク) |
| 一般公募 | |
| 1. TEM解析における適正な試料厚さ 樹脂中フィラーの観察を中心に | 石本 竜二(トクヤマ) |
| 2. SpinningStarを用いたAnnular Dark Field像
ざっくばらんトーク | 鈴木 敏洋(トヨタテックハウス) |

文責 鈴木敏洋(トヨタテックハウス)